YAGI
Business to Belief

2027年3月期第2四半期
決算補足説明資料

Supplementary Materials for Financial Results

株式会社ヤギ ｜ 東証スタンダード市場：7460

2026.11.09

Business to Belief
商いの先の、信じることへ。

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

経営概況サマリー

前年同期比で増収減益。

PBRは前期末の0.70倍から着実に上昇。

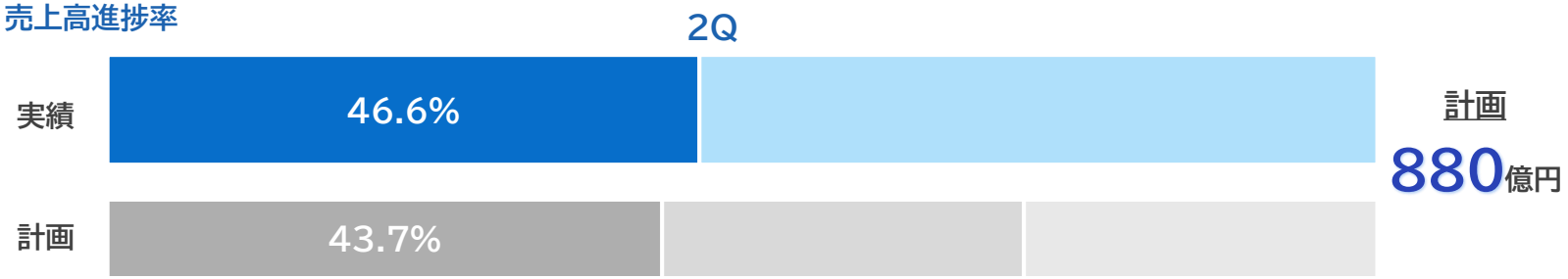
売上・利益ともに、計画を上回る進捗となっており、通期計画どおりの着地を見込む。

※最新の株価情報については当社公式HP（株価）をご参照ください。

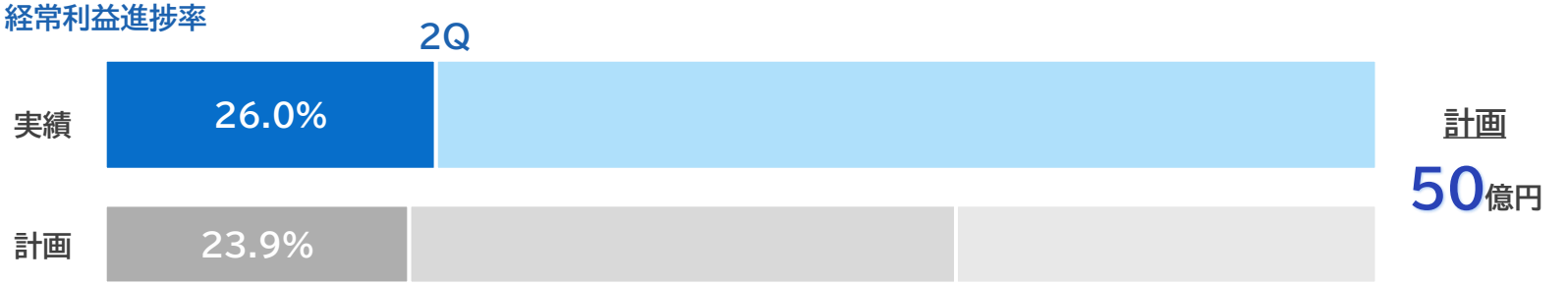
経営概況サマリー

売上高	経常利益	PBR
410.1億円 （前年同期比＋3.7%）	13.0億円 （前年同期比▲24.1%）	0.83倍 （2026年9月末現在）

売上高進捗率



経常利益進捗率



© 2026 YAGI & CO., LTD.

目次

01 連結業績 P4-9

02 セグメント別業績 P10-19

03 株主還元・投資家との対話 P20-23

04 参考：中期経営計画 P24-38

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

目次

01 連結業績 P4-9

02 セグメント別業績 P10-19

03 株主還元・投資家との対話 P20-23

04 参考：中期経営計画 P24-38

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

決算業績

前年同期比で増収となったが、円安や物流費高騰によるコスト上昇と成長事業への先行投資により減益。

下期偏重の業界構造を踏まえた通期計画に対しては、想定を上回る進捗。

※2026年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っているため、1株当たり中間(当期)純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

(億円)	FY2027/2Q 実績	FY2027/2Q 前年同期比 増減率	FY2027/2Q 計画比 進捗率	FY2026 2Q 実績	FY2027 通期 計画
売上高	410.1	+3.7%	46.6%	395.4	880.0
営業利益 (率)	7.7 (1.9%)	▲44.2%	17.5%	13.7 (3.5%)	44.0 (5.0%)
経常利益 (率)	13.0 (3.2%)	▲24.1%	26.0%	17.1 (4.3%)	50.0 (5.7%)
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (率)	10.8 (2.6%)	▲35.2%	29.3%	16.7 (4.2%)	37.0 (4.2%)
1株当たり中間(当期)純利益 (円)	44.61	▲32.9%	29.9%	66.50	149.10

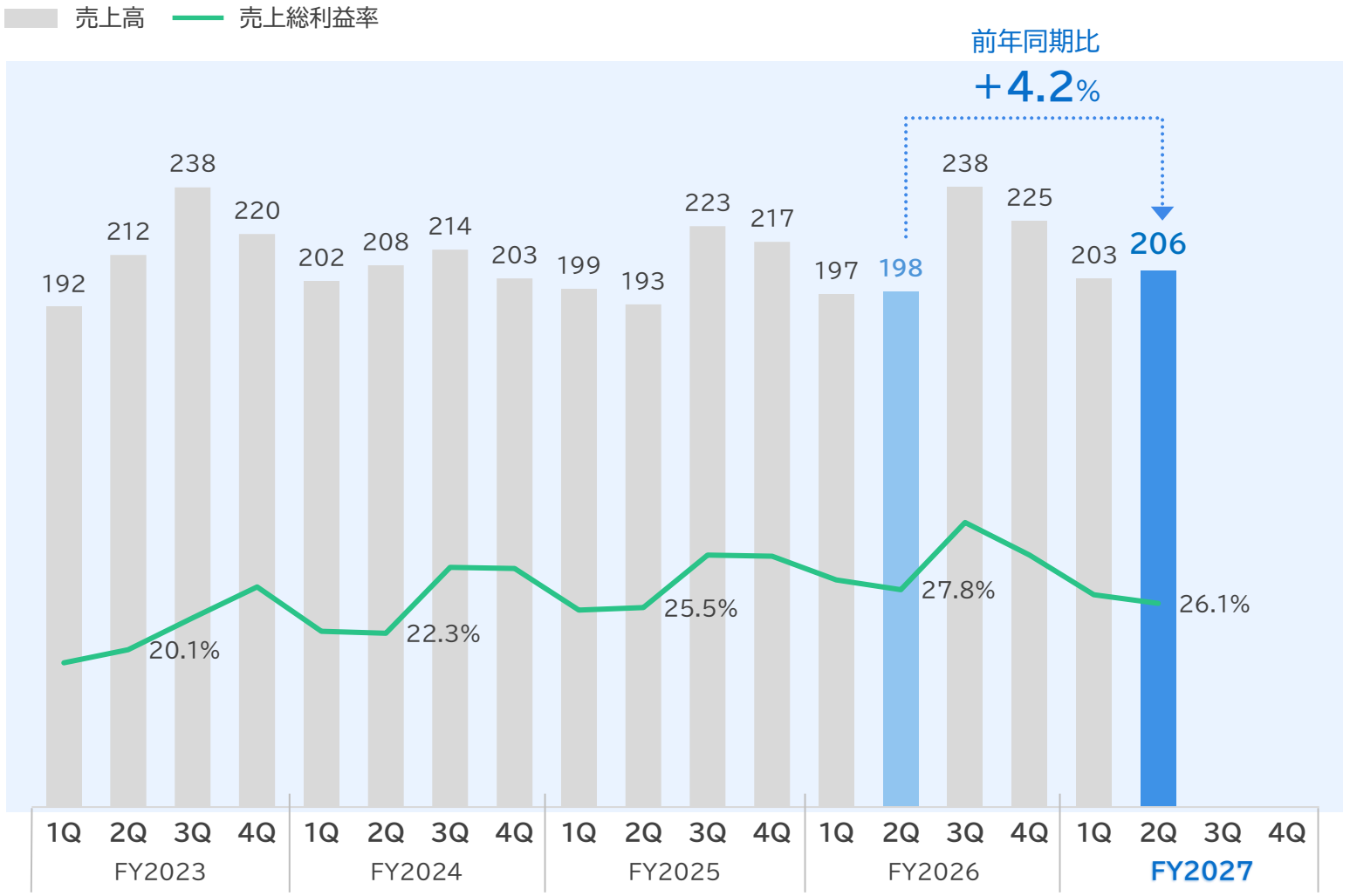
© 2026 YAGI & CO., LTD.

売上高の推移

2Qは前年同期比+4.2%。

1Qに引き続き前年同期比で増収を継続。

売上高（億円）

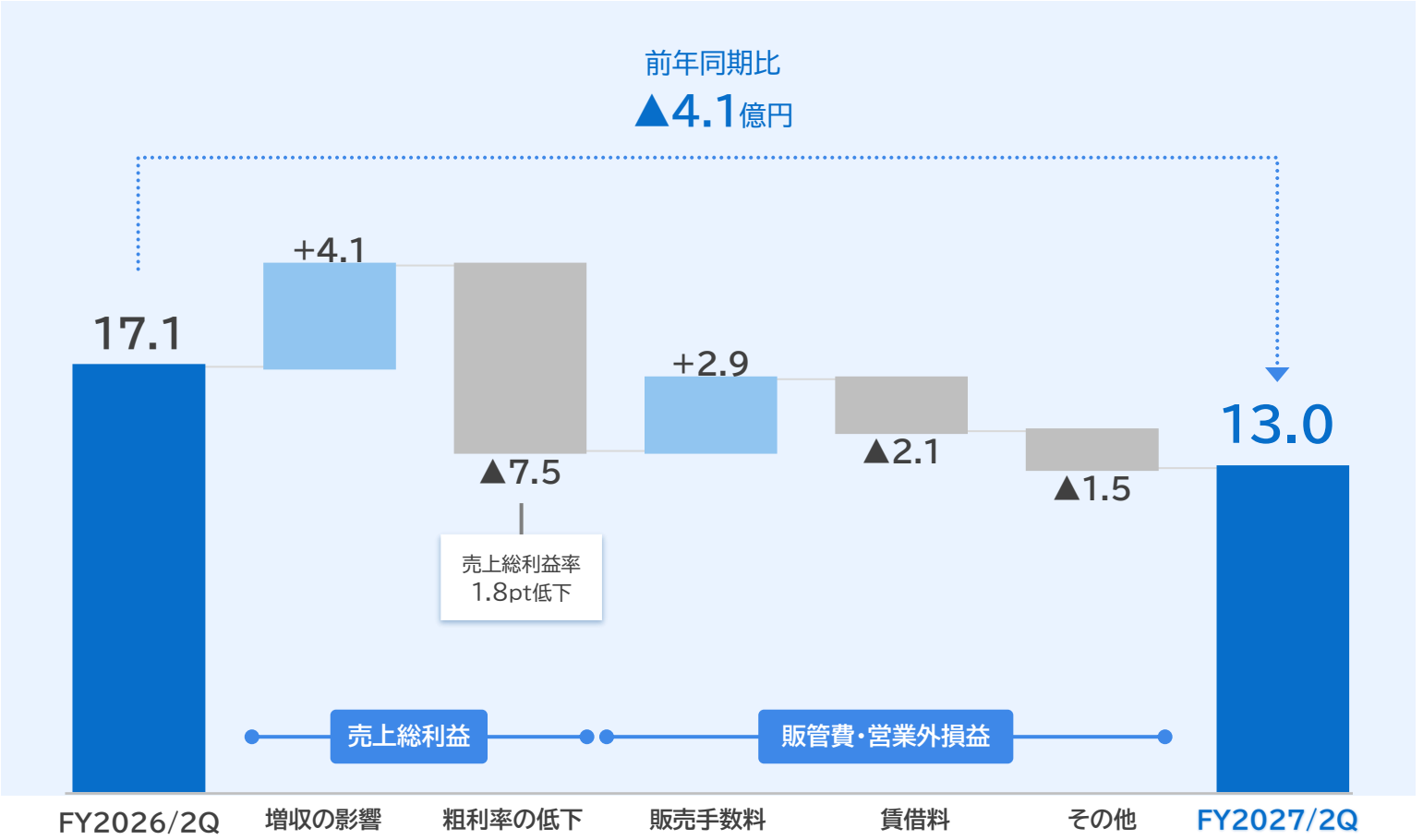


© 2026 YAGI & CO., LTD.

経常利益の増減要因

粗利率の低下、「TATRAS」の新規出店や東京本社移転による賃借料の増加などにより、前年同期から減益となった。

経常利益（億円）



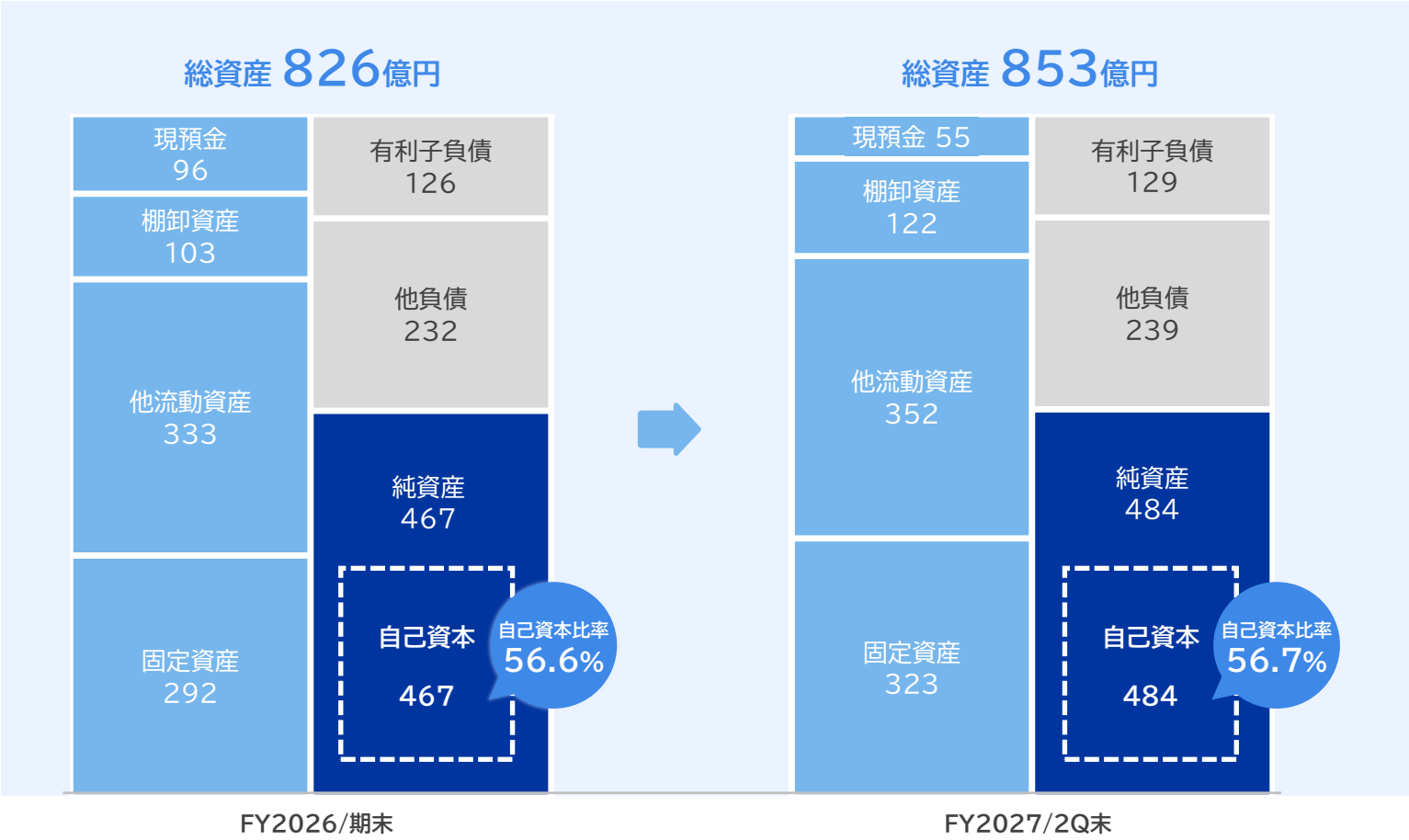
© 2026 YAGI & CO., LTD.

B/Sの増減

債務の支払いに伴い現預金が減少したが、需要期である下期に向けた在庫確保により棚卸資産が増加し、総資産は853億円となった。

自己資本比率は高い水準を維持し、強固な財務基盤を継続。

バランスシート（億円）



© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

C/F

需要期である下期に向けた在庫確保と、売上拡大に伴う売上債権の増加などにより、営業CFが前期比で減少。フリーCFは▲34.0億円となった。

配当金の支払い及び自己株式の取得などにより財務CFは▲11.3億円となり、2Q末の残高は50.2億円となった。

C/F（億円）

（億円）	FY2027/2Q 実績	FY2027/2Q 前年同期比 増減額	FY2026 2Q 実績
営業活動によるC/F	▲29.5	▲16.3	▲13.2
投資活動によるC/F	▲4.4	+12.3	▲16.8
フリーC/F	▲34.0	▲3.9	▲30.0
財務活動によるC/F	▲11.3	+6.6	▲18.0
換算差額・連結範囲の変更に伴う増減額	0.0	+1.0	▲0.9
現金及び現金同等物	50.2	▲18.5	68.8

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

目次

01 連結業績 P4-9

02 セグメント別業績 P10-19

03 株主還元・投資家との対話 P20-23

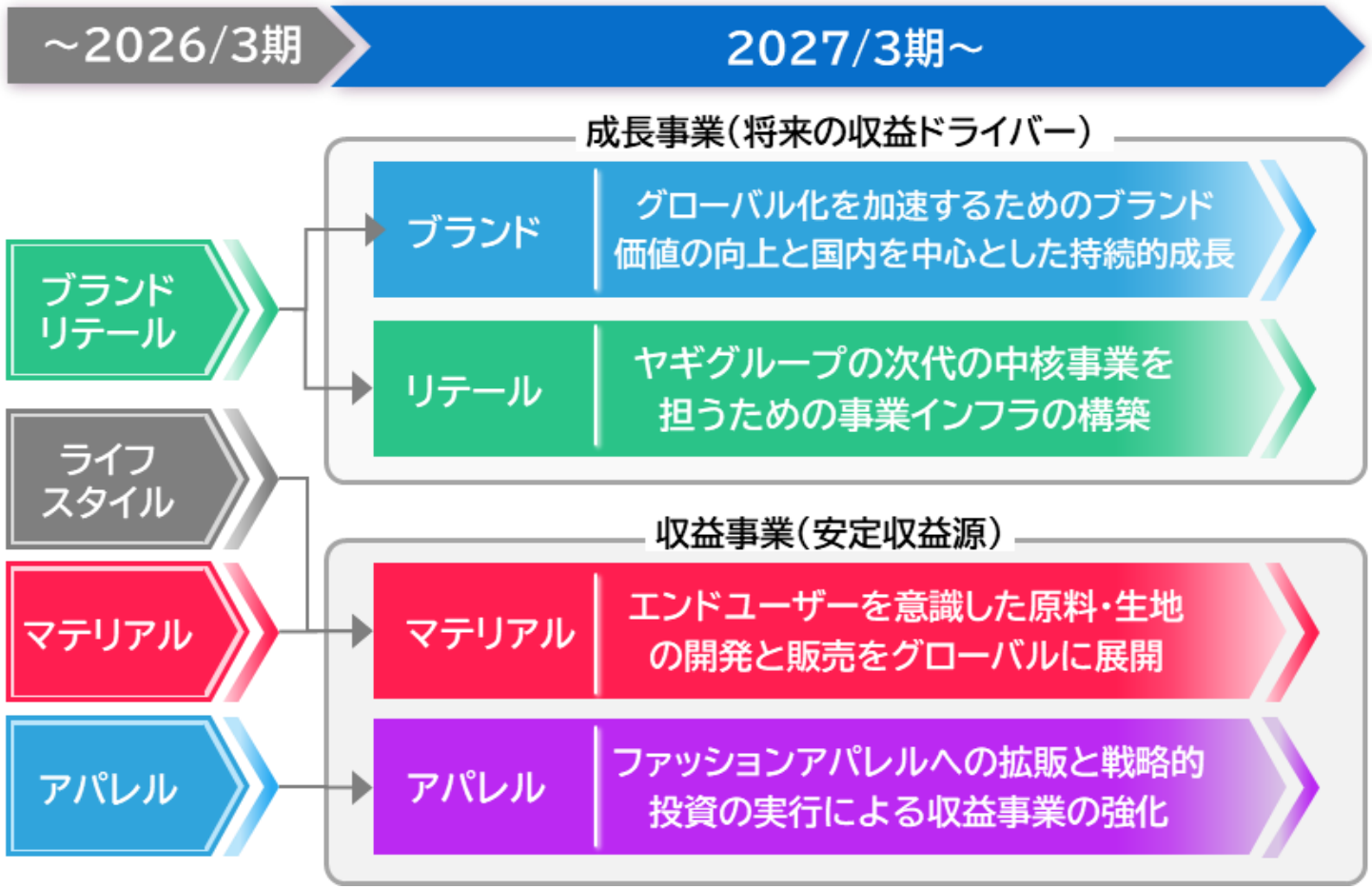
04 参考：中期経営計画 P24-38

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

セグメントの再編について

従来の4セグメントを、創出する価値の役割に応じて「成長事業（将来の収益ドライバー）」と「収益事業（安定収益源）」へ再編。
収益事業の利益を戦略的に成長事業へ投資することで、成長事業の拡大を図る。



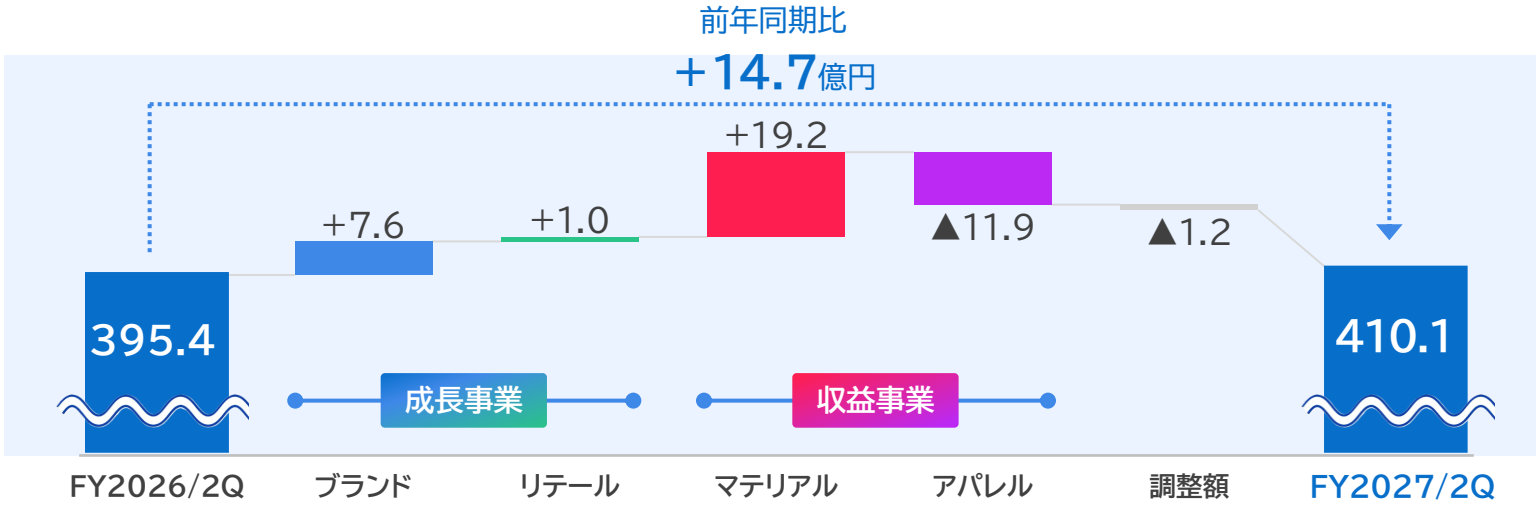
© 2026 YAGI & CO., LTD.

セグメント別業績サマリー

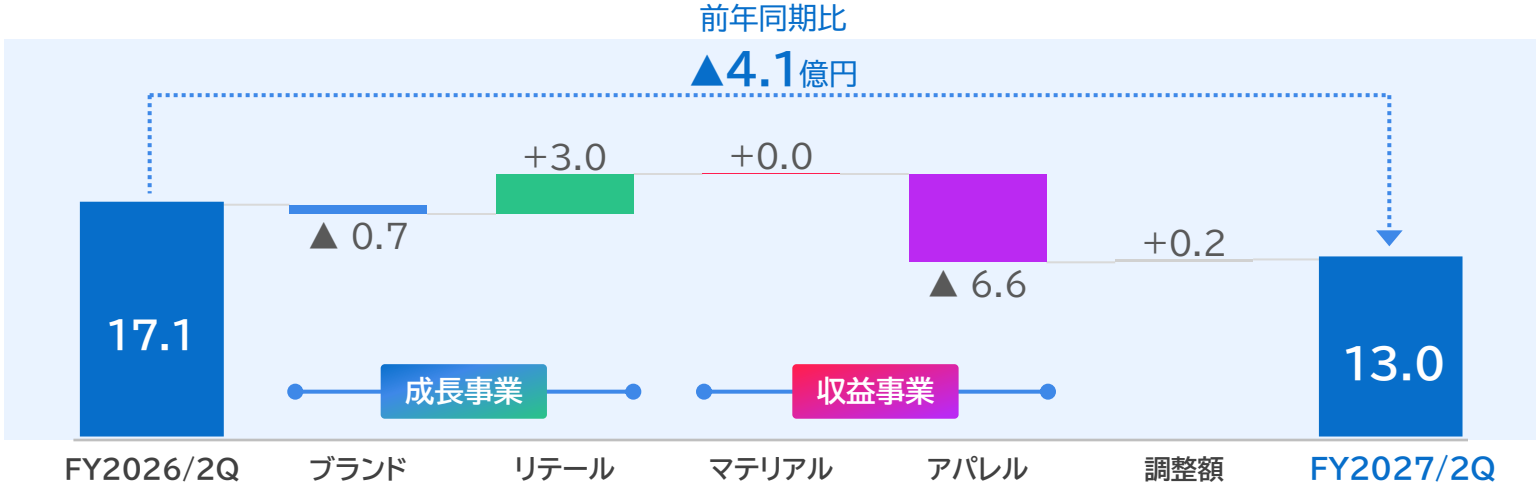
アパレル以外のすべてのセグメントで増収。

ブランドの利益貢献は3Q以降を見込む。

売上高（億円）



経常利益（億円）



© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

成長事業
（ブランド/リテール）

業績進捗

成長事業全体としては、前年同期比で増収増益。

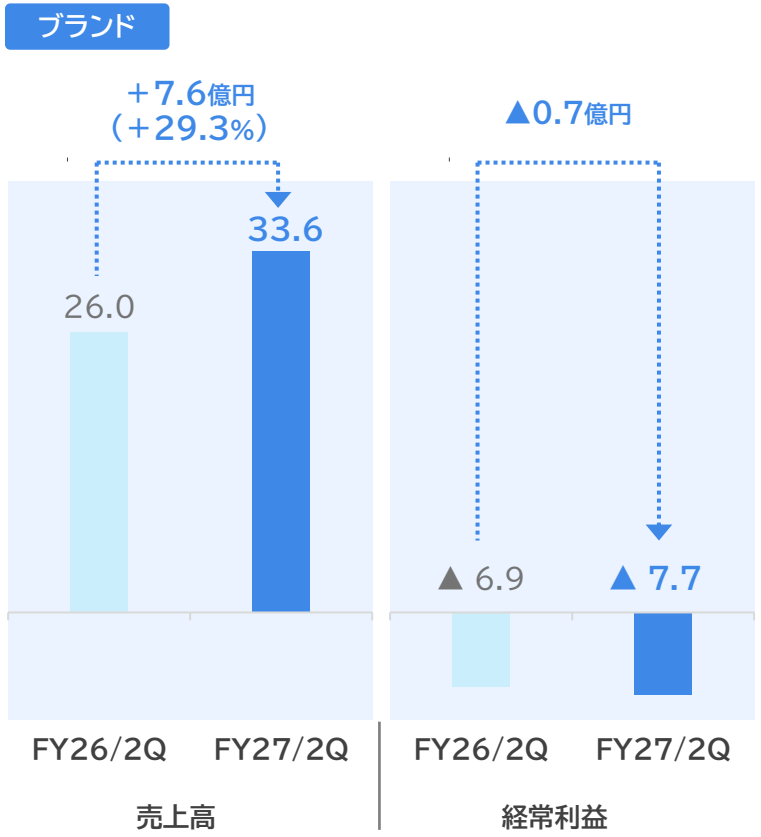
ブランドは投資が先行しているが、主力ブランド「TATRAS」の需要期となる3Q以降に黒字化及び利益貢献を見込む。

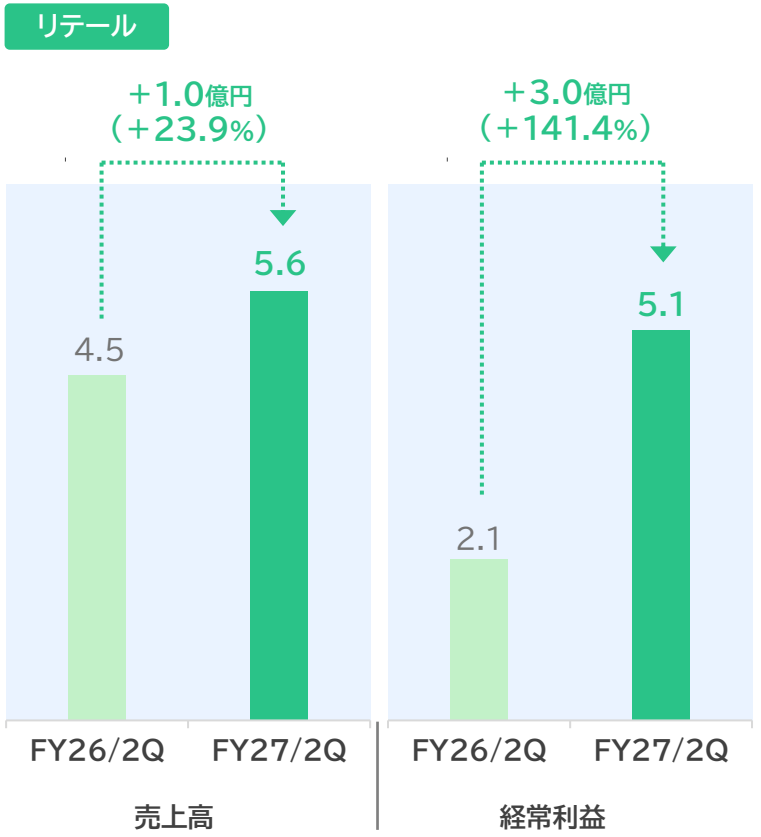
リテールは持分法適用会社の利益貢献もあり大幅増益。

成長事業

売上高　：39.2億円（対前年同期：+8.6億円　+28.5%）

経常利益　：▲2.6億円（対前年同期：+2.2億円）





© 2026 YAGI & CO., LTD.

Business to Belief

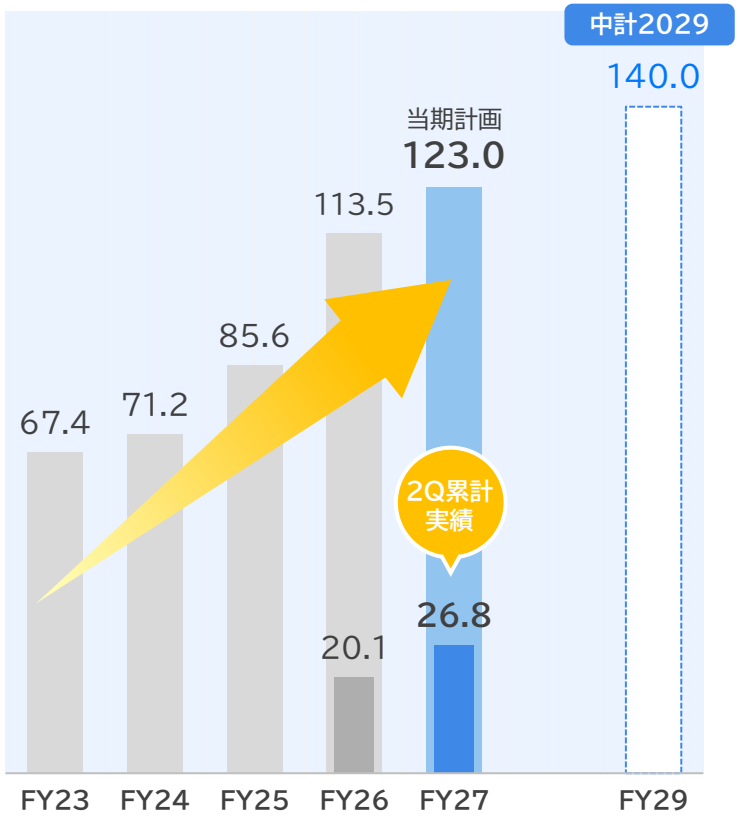
成長事業
（ブランド/リテール）

TATRASの進捗

主力ブランドである「TATRAS」では、前期に出店した店舗の売上寄与、春夏商材の拡充とそれに連動した広告キャンペーンなど、ブランド発信強化により、国内・海外ともに順調に進捗。

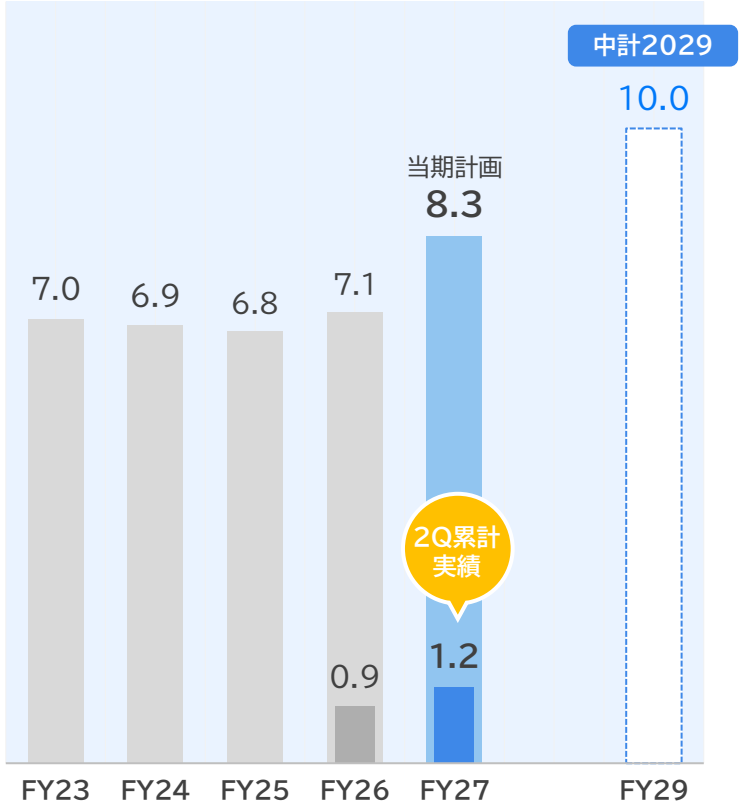
●「TATRAS」国内売上高

（単位：億円）



●「TATRAS」海外売上高

（単位：百万ユーロ）



© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

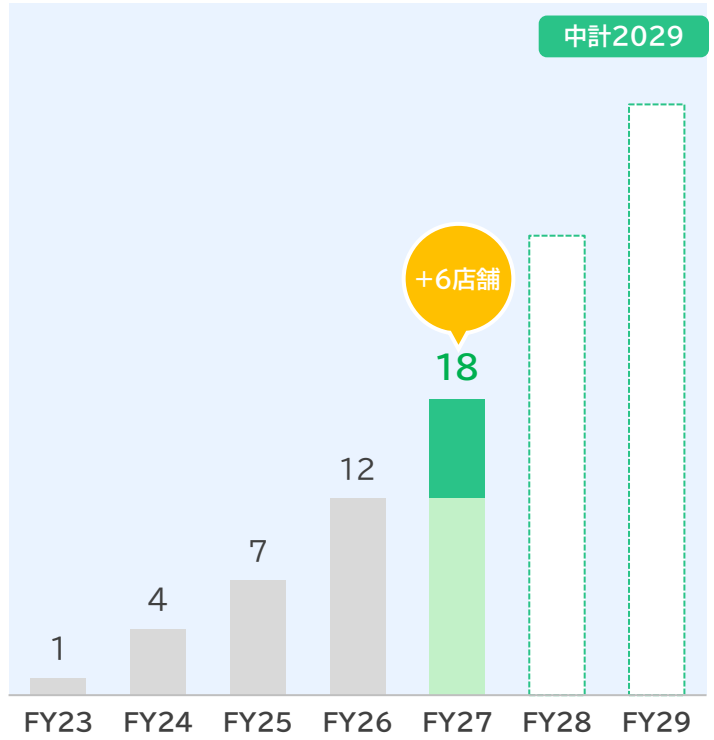
成長事業
（ブランド/リテール）

NIKEリテール事業の進捗

当期は6店舗を新規で出店し、当社グループがリテールパートナーとして運営するNIKEストアは全国で18店舗（2026年9月末時点）。今後も計画的に出店を進めることで、中核事業への成長を目指す。

店舗数の推移

（単位：店）





© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

成長事業
（ブランド/リテール）

TOPICS

BRAND

「TATRAS」のポップアップストアをアジア地域で積極展開





※画像：TATRAS海外店舗イメージ

WEAVA

Information

アジア事業の本格展開に向け台湾現地法人を設立

ヤギの連結子会社WEAVAは、基幹ブランド「TATRAS」のアジア展開加速に向け、台湾・台北市に100%出資子会社「塔特拉斯台灣股份有限公司」を設立しました（2026年9月8日設立）。同地域でのマーケティング実績を踏まえ、アジア事業拡大の重要な拠点と位置づけます。また、2026年11月11日より、韓国ソウルにてポップアップストアをオープンします。当期は、シンガポール、台湾、韓国の3市場へ展開を拡大し、店舗やECを通じて顧客接点を強化します。

台湾現地法人設立についての詳細はプレスリリースをご覧ください。

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

収益事業
（マテリアル/アパレル）

業績進捗

収益事業全体としては前年同期比で増収減益。

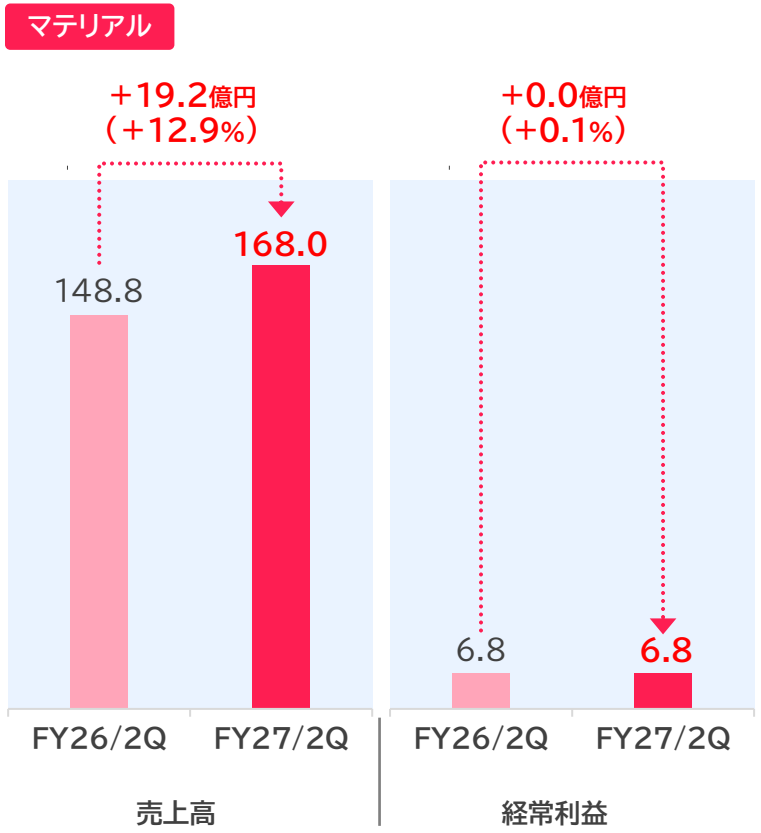
マテリアルはグローバル販売の拡大などにより増収となった。

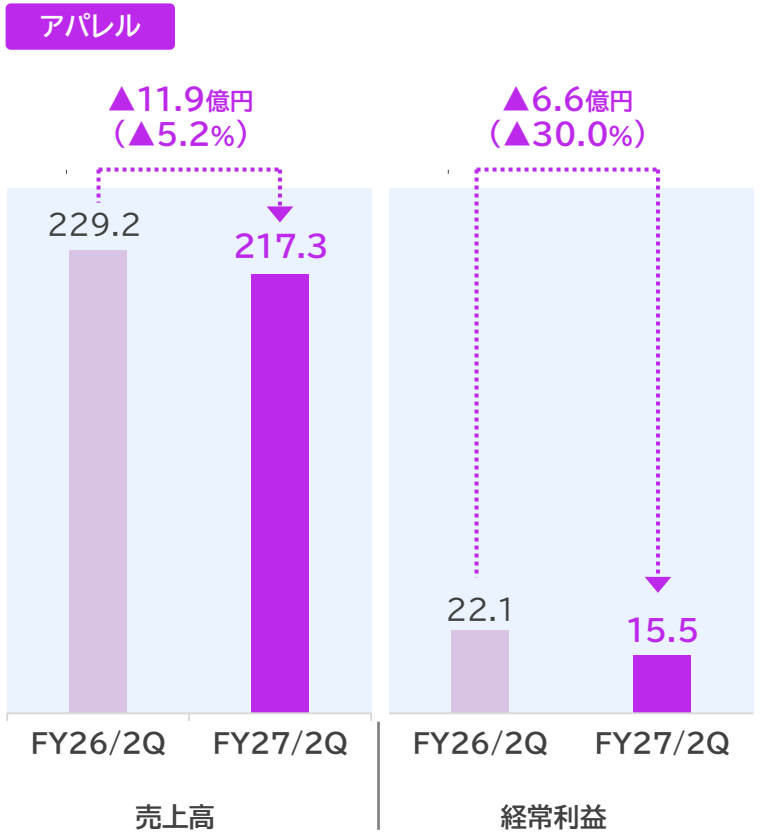
アパレルは一部販路向けでの受注減に加え、コスト上昇に対する価格転嫁が追い付かず減収減益。

収益事業

売上高　：385.3億円（対前年同期：+7.3億円　+1.9%）

経常利益　：22.3億円（対前年同期：▲6.6億円　▲22.9%）





© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

収益事業
（マテリアル/アパレル）

TOPICS

MATERIAL

ヤギ、サンウェル、瀧定とデジタル領域で連携しテキスタイルECを相互接続







※画像：(左)3社連携図・(右)当社代表の八木。記者会見の様子

競合を超えた「共創」によるテキスタイルEC連携

当社は、テキスタイル業界のさらなる発展を目的として、株式会社サンウェル、瀧定株式会社の3社とデジタル領域での連携を開始し、第一段階として、各社が運営するそれぞれのテキスタイルECにおいて相互に在庫を連携し、各社のECサイトで自由に購入できるシステムをリリースしました。自社ECサイト「Fably」をはじめとする3サイトの強みを活かしたままデータ連携を図ることで、情報の分散や小口取引の手間といった業界課題を解消し、利便性の向上と新たなビジネス機会の創出を目指します。

詳細はプレスリリースをご覧ください。

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

Q&A

Q 業績の進捗は計画どおりですか？

A 売上高・利益ともに計画を上回り、通期計画達成に向け順調に進捗しております。前年同期比ではコスト増などにより減益となりましたが、秋冬の重衣料需要が高まる下期に向けて、コスト上昇分を反映した適正価格への転嫁を進めるなど準備は整っており、計画どおりの着地を見込んでおります。

Q ブランドセグメントの赤字幅が拡大している理由は何ですか？

A 主力ブランドである「TATRAS」において、グローバルアンバサダーの起用や大型広告キャンペーンの展開など認知向上施策を実施したほか、店舗拡大や人材投資等の戦略的先行投資により、経常損失が一時的に拡大いたしました。ただし、売上高が計画を上回ったことから赤字幅は期首計画よりも縮小しております。 なお、上期の認知向上施策により各種SNSのフォロワー数が飛躍的に拡大するなど顧客基盤が拡大しており、今後の成長への先行指標は良好であると捉えております。

Q アパレルセグメントが減収減益となった理由と今後の見通しについてお聞かせください。

A 一部販路向けでの受注減に加え、急激なコスト上昇に対して上期では価格転嫁が間に合わず、利益を圧迫いたしました。今後は新規の得意先開拓に加え、サプライチェーンの最適化を徹底するとともに、高機能・高付加価値商材へのシフト、及びコスト上昇分を反映した適正価格への転嫁などにより収益改善を図ってまいります。

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

目次

01 連結業績 P4-9

02 セグメント別業績 P10-19

03 株主還元・投資家との対話 P20-23

04 参考：中期経営計画 P24-38

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

株主還元の状況

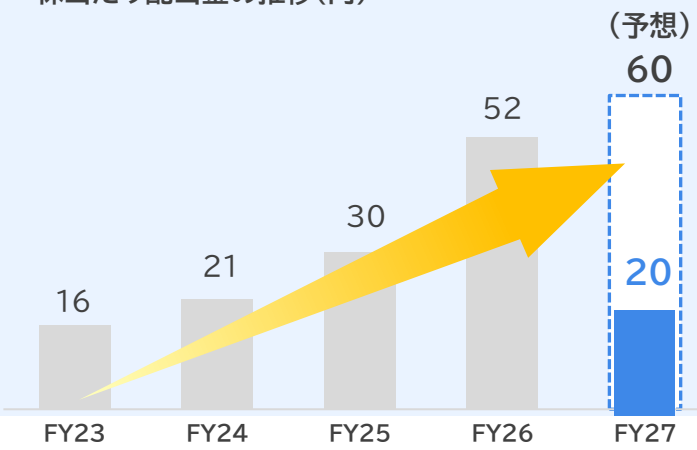
中間配当は計画通り20円に決定、自己株式も6.6億円取得し、中計方針「総還元性向70%目途」「自己株式取得40億円」に沿い、機動的な還元を推進。

● 1株当たり配当金の状況

配当性向40%以上

中間(決定)	期末(予想)	年間(予想)
20円	40円	60円
計画通り実施予定		実質+8円増配

一株当たり配当金の推移(円)



※2026年7月1日付の1:3株式分割を反映・遡及修正した配当金を記載しております

● 自己株式取得の進捗(2026年10月31日現在)

取得枠に対する進捗

当期計画:15億円(上限:80万株)



当期取得株式数	当期取得総額
40.3万株	6.6億円
発行済株式の1.6%	計画通り順調に進捗

※取得期間:2026年7月1日 ～ 2027年3月31日
※取得方法:東京証券取引所における市場買付
(自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を含む)

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

投資家との対話状況

資本コストや株価を意識した経営に向け対話を強化。

得られた意見を経営へフィードバックしています。

機関投資家との面談回数

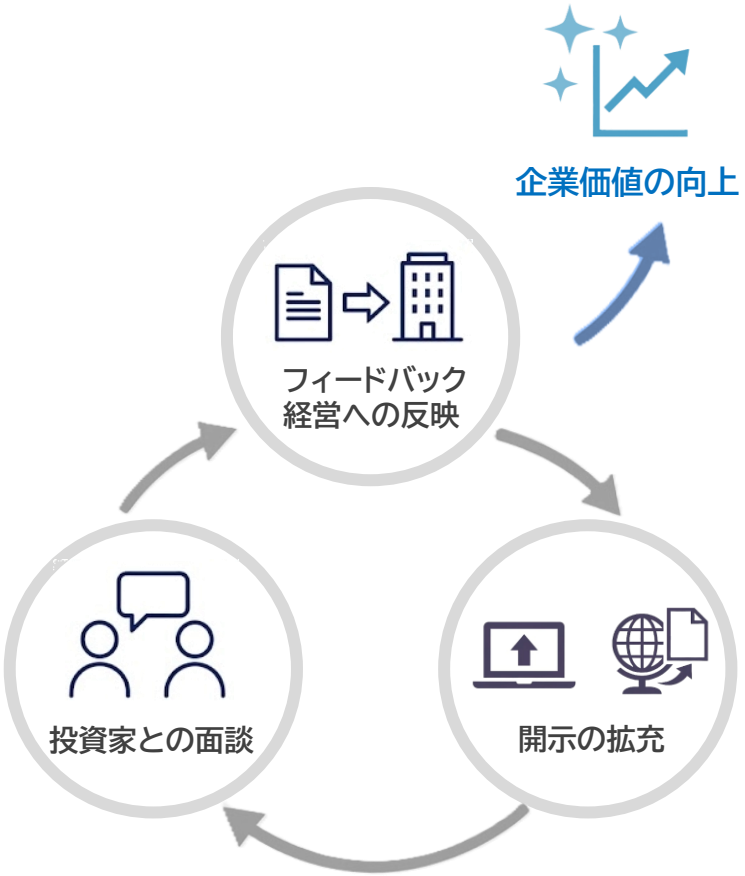
16回 前年同期比+6回

（2026年4月～9月に実施した機関投資家との1on1面談回数）

面談の主なテーマ

- ■ 業績と通期見通しについて
- ■ 中長期的な成長戦略について
- ■ 資本政策・株主還元について

対話の価値創造プロセス



継続的な対話を通じて企業価値の向上へつなげる

© 2026 YAGI & CO., LTD.

Business to Belief

株主・投資家の皆さまへ お知らせ

幅広いステークホルダーの皆さまに当社への理解を深めていただくため、各種メディア連携および発信チャネルを強化。

● 「ジャパニーズ・インベスター」誌に記事掲載



経営理念、中期経営計画における成長戦略および株主還元方針等に関する記事を掲載。

オンライン記事はこちらから→

● 決算説明動画公開（予定）



代表取締役社長執行役員の八木が2Q決算についてご説明。投資家の皆さまからのよくあるご質問にもお答えいたします。

公開予定：2026年11月下旬

● ログミーFinance書き起こし記事公開（予定）

決算説明動画の書き起こし及び質疑応答の内容を、スライド付きで記事掲載。

logmi Finance ログミー

公開予定：2026年11月下旬

● 「YAGI REPORT（株主通信）」公開（予定）



特集では、「中期経営計画2029」における変革・挑戦の取り組みについて常務二人の対談内容をお届けします。

公開予定：2026年12月上旬

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

目次

01 連結業績 P4-9

02 セグメント別業績 P10-19

03 株主還元・投資家との対話 P20-23

04 参考：中期経営計画 P24-38

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

グランドデザイン｜目指す姿

「Business to Belief」の理念のもと、持続可能な競争優位を確立することで、創業140周年に向けた長期的な成長ストーリーを実現する。

Business to Belief

商いの先の、信じることへ。



持続的成長の基盤づくり

組織の土台を整備、事業ポートフォリオの見直しを進めることでセグメント体制の確立

持続可能な競争優位の確立

構築した基盤をさらに深化・拡大し、業界内で独自のポジションを確立

ヤギの成長ストーリーの実現

目指す姿に向かって明確化された成長戦略に基づき、リソース配分を行う

中計 2026 → 中計 2029 → 長期ビジョン

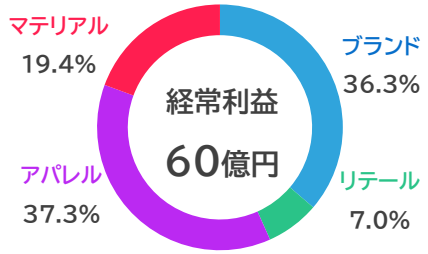
© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

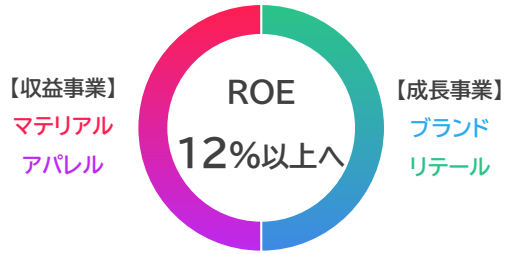
グランドデザイン｜成長ストーリー

収益事業の利益を戦略的に成長事業へ投資することで、成長事業の拡大を図る。

	中計 2029	長期ビジョン
成長事業（将来の収益ドライバー）		
ブランド	グローバル化を加速するためのブランド価値の向上と国内を中心とした持続的成長	「TATRAS」のグローバルブランドとしてのポジションの確立
リテール	ヤギグループの次代の中核事業を担うための事業インフラの構築	ヤギグループ独自のリテール事業の構築
収益事業（安定収益源）		
マテリアル	エンドユーザーを意識した原料・生地の開発と販売をグローバルに展開	グローバル展開と新領域の拡大 持続的成長の実現
アパレル	ファッションアパレルへの拡販と戦略的投資の実行による収益事業の強化	ヤギの専門性を強みに事業の差別化を進め、安定的な収益基盤を構築



収益 57%・成長 43%



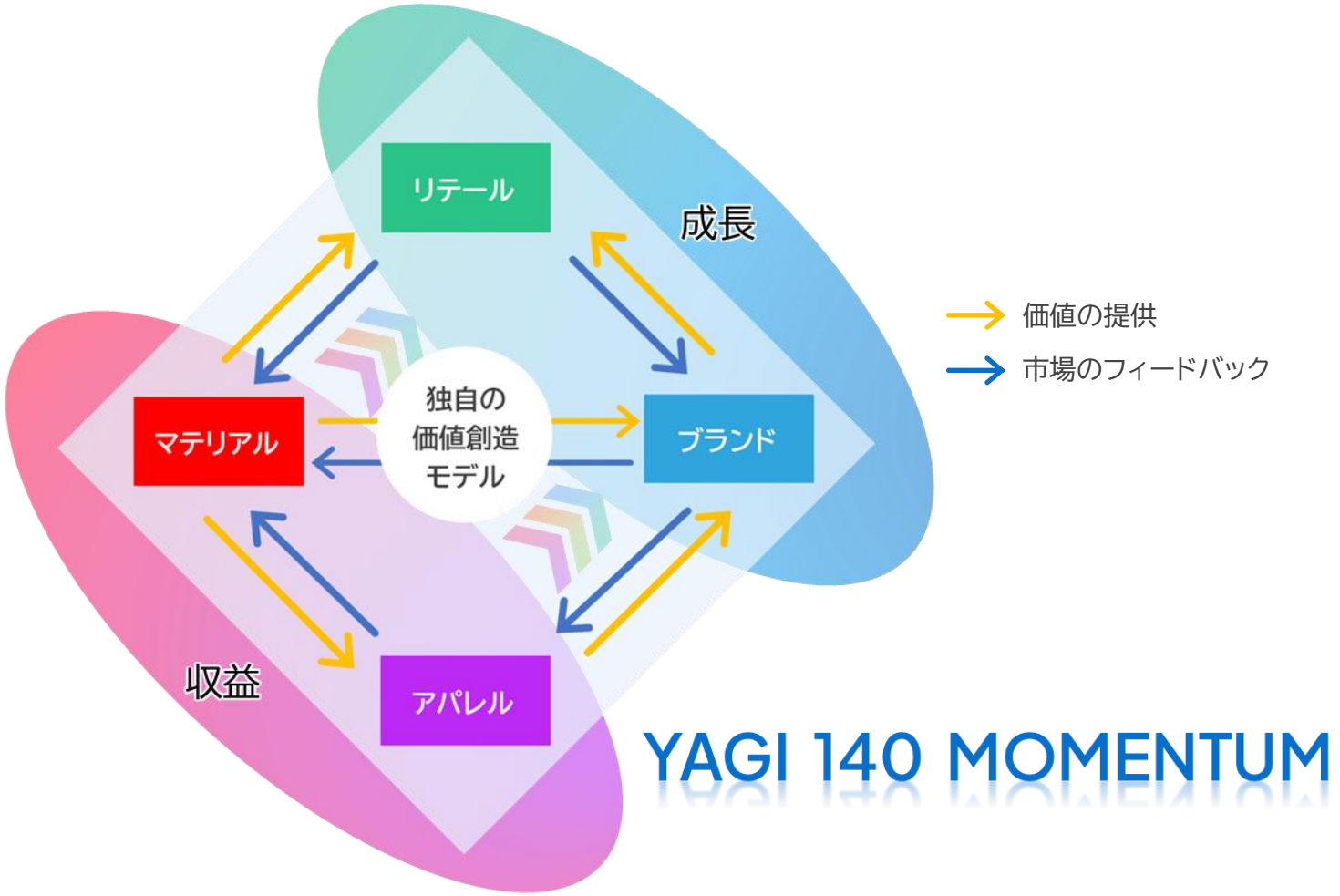
収益 50%・成長 50%

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

グランドデザイン｜価値創造モデル

従来の垂直統合型を循環型へと再構築。独自の価値創造モデルで安定収益と成長投資を両立し、成長を加速させる。



© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

中期経営計画2029の全体像

「中期経営計画2026」をさらに深化・拡大し、業界内で独自のポジションを確立。

持続可能な競争優位の確立

「中期経営計画2026」をさらに深化・拡大し、業界内で独自ポジションを確立。



© 2026 YAGI & CO., LTD.

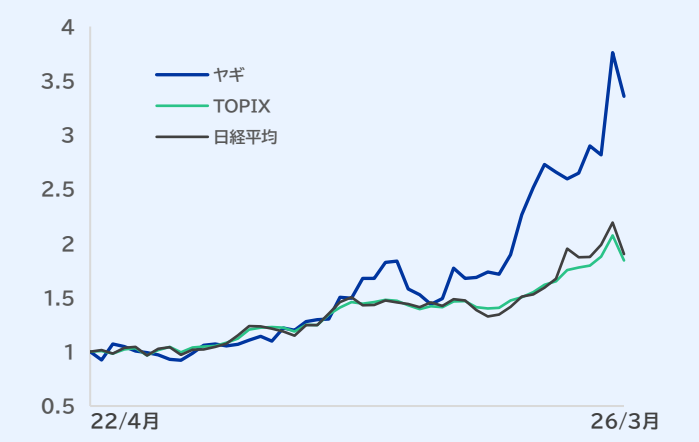
YAGI
Business to Belief

財務戦略｜課題認識

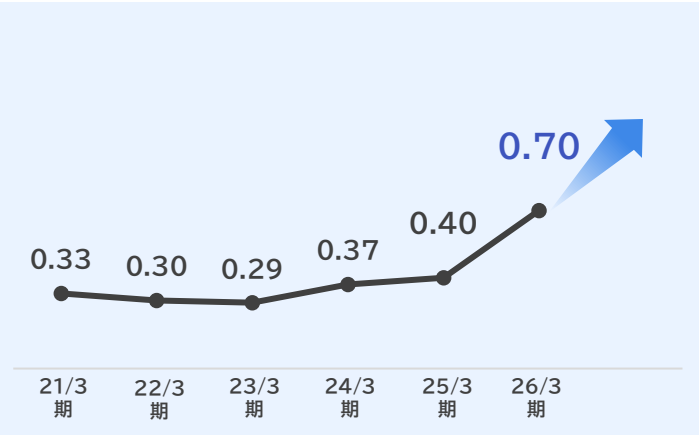
ROE 8%達成により資本コストを上回る収益性を確保したが、PBR1倍超に向けた市場評価の獲得は途上にある。

今後は収益性のさらなる追求と成長期待のさらなる醸成（IR/SR活動の強化）が不可欠である。

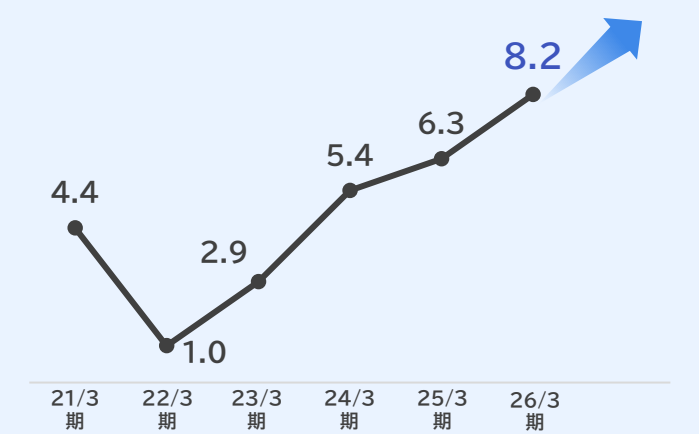
相対株価推移



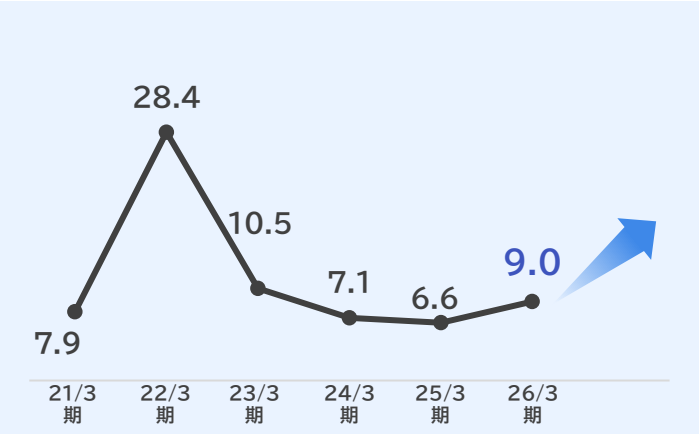
PBR



ROE



PER



© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

財務戦略｜PBR改善ツリー

PBR1倍超に向けて資本コストや株価を意識した経営を実践する。

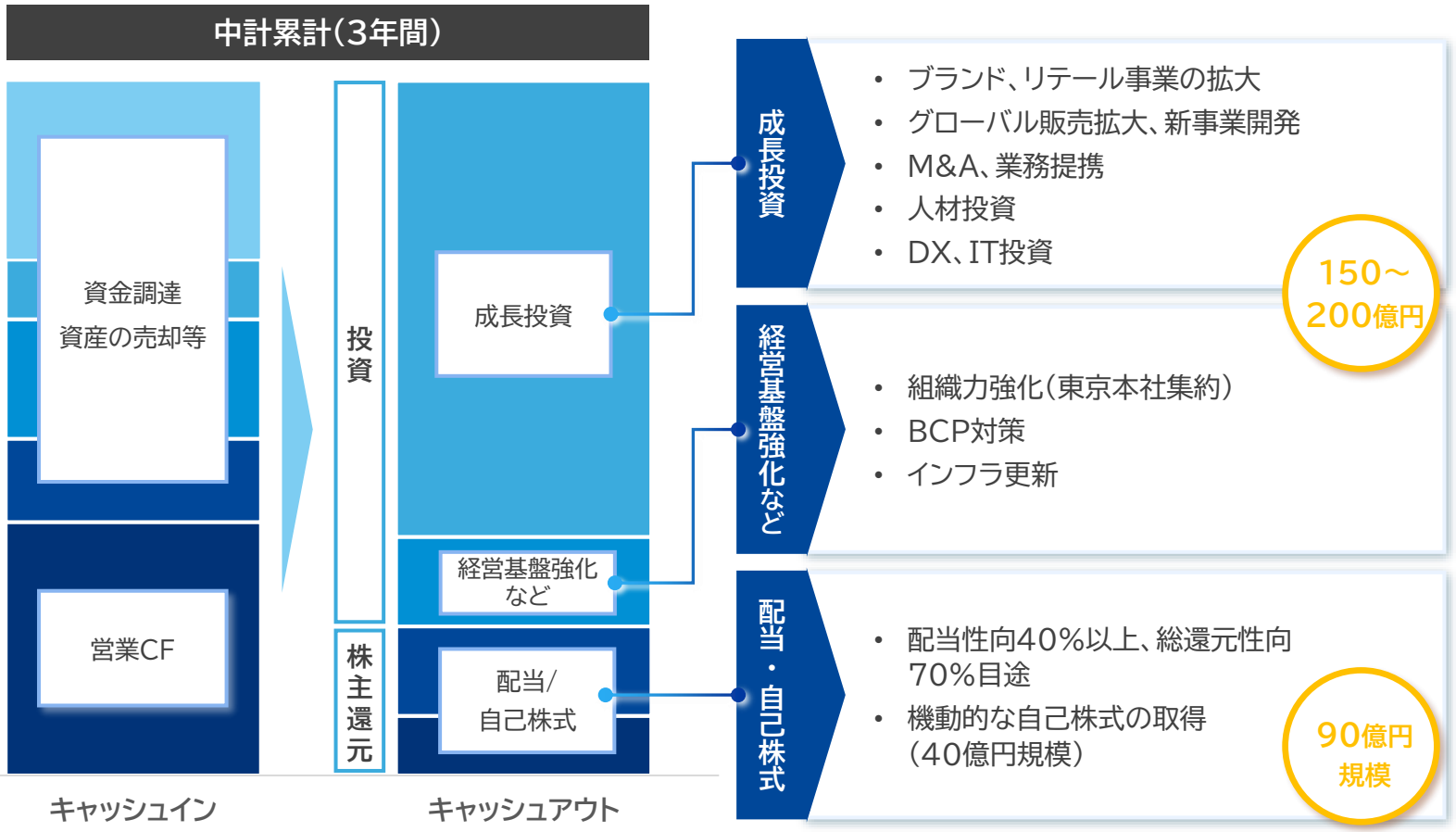


© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

財務戦略｜キャッシュアロケーション

キャッシュインを最大化することで、150～200億円規模の投資と総還元性向70%目途の積極還元を両立する。



© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

財務戦略｜政策保有株式の縮減

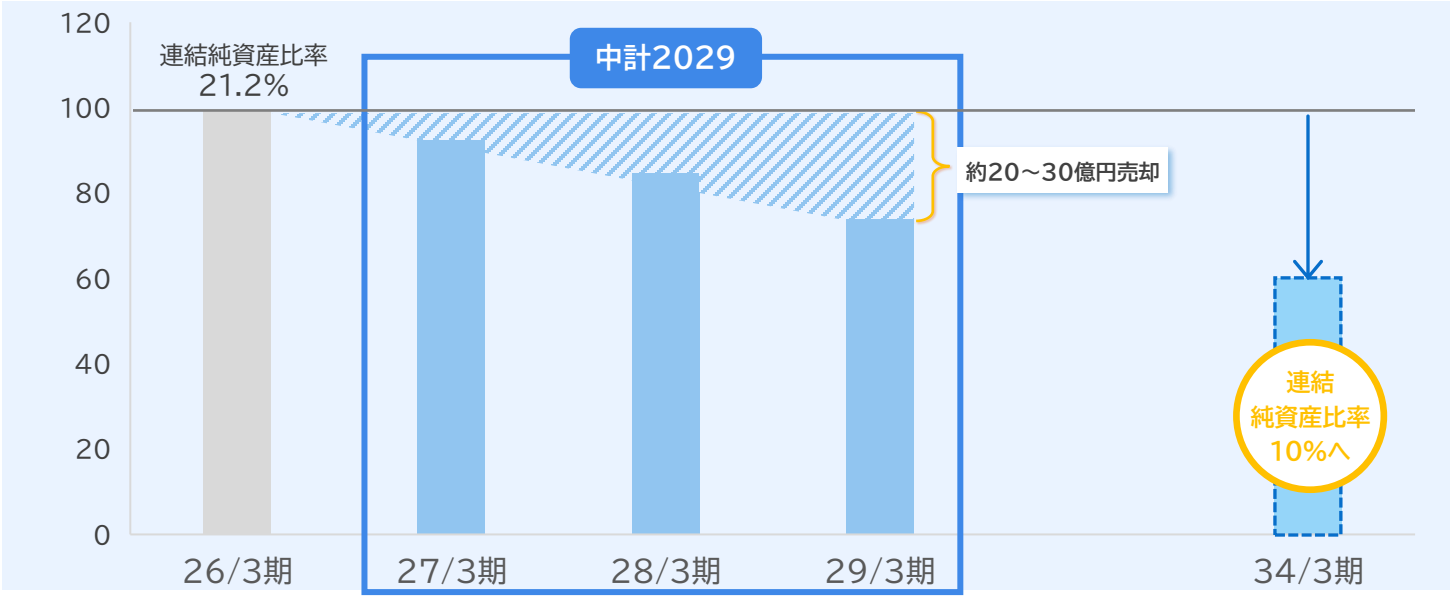
資本効率向上へ、政策保有株式を約20～30億円縮減。
売却資金を成長投資と株主還元へ循環させ、長期的には純資産比率10%以下への低減を通じてB/Sの最適化を図る。

基本方針

- ✓ 政策保有株式は取引関係や事業シナジーの観点から保有の必要性を毎年取締役会で検証する。
- ✓ 経営資源の有効活用と資本効率改善など、保有合理性が乏しい銘柄は縮減対象とする。

縮減方針

- ✓ 「中期経営計画2029」期間内で政策保有株式を計画的に縮減。（売却額は約20～30億円を見込む。）
- ✓ 売却資金は、成長投資、株主還元（自社株取得）などに有効活用する。
- ✓ 長期的には連結純資産比率10%以下を目指す。



© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

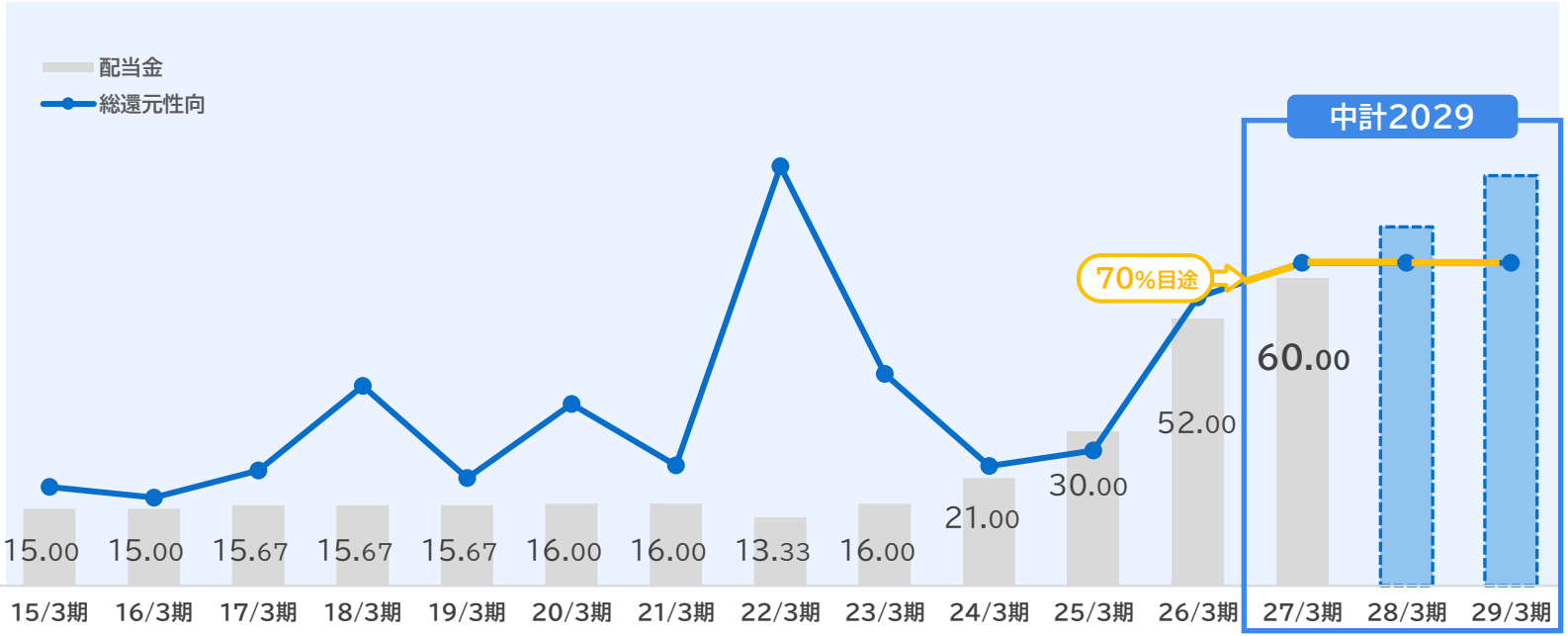
財務戦略｜株主還元

「総還元性向70%目途」「配当性向40%以上」へ方針を転換。

40億円の自己株取得を機動的に実施し、資本効率向上によりPBR1倍超の達成と株主価値最大化を目指す。

株主還元方針				
	総還元性向	70%目途		
	配当性向	40%以上	自己株式取得	40億円(予定)

27年3月期配当方針（1株当たり配当金）			
中間	期末(予想)	年間(予想)	前期比
20円	40円	60円	＋8円



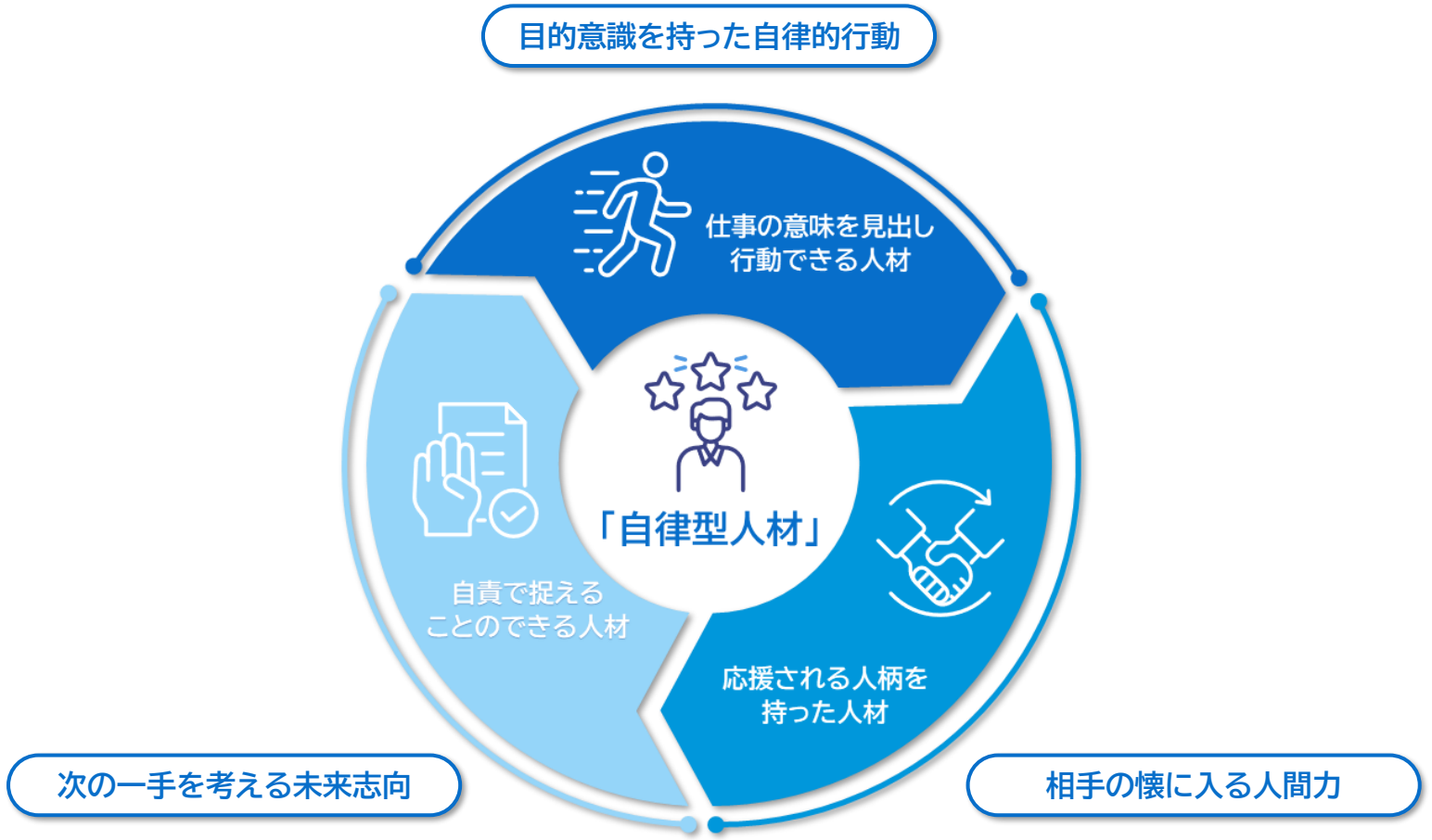
※2026年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。上記、「27年3月期配当方針（1株当たり配当金）」は当該株式分割を考慮した金額となっており、また、グラフの配当金は株式分割の影響を遡及修正した数値を記載しております。

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

人材戦略｜人材ポリシー

「Business to Belief」の理念に基づき、社員全員が新しい価値をつくり、社会に貢献できるような「自律型人材」になることで、個の能力を高めて、グループ組織の最大化を図り、中長期的な成長ストーリーの実現を目指す。



© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

人材戦略｜主要施策

「ヤギ独自の成長ストーリー」実現に向け、主要施策を推進し、人的資本への投資を加速させることで、持続的な価値創造を支える強固な組織基盤を構築する。

重要テーマ

・役割の明確化　・公正な評価　・エンゲージメントの向上
・離職率の低下　・次世代リーダーの確保

主要施策	期待する成果
1 活躍人材の定義と仕組み化 活躍人材を定義し、評価教育の仕組みに反映させる。	個人パフォーマンスの最大化
2 定量把握と改善サイクルの確立 データに基づき従業員の常態を把握し、改善サイクルを回す。	生産性向上・組織の健全化
3 女性管理職候補者育成と機会提供 次世代リーダー候補へ戦略的に投資し、ロールモデルを構築。	持続的成長とイノベーション

ヤギ独自の成長ストーリーの実現

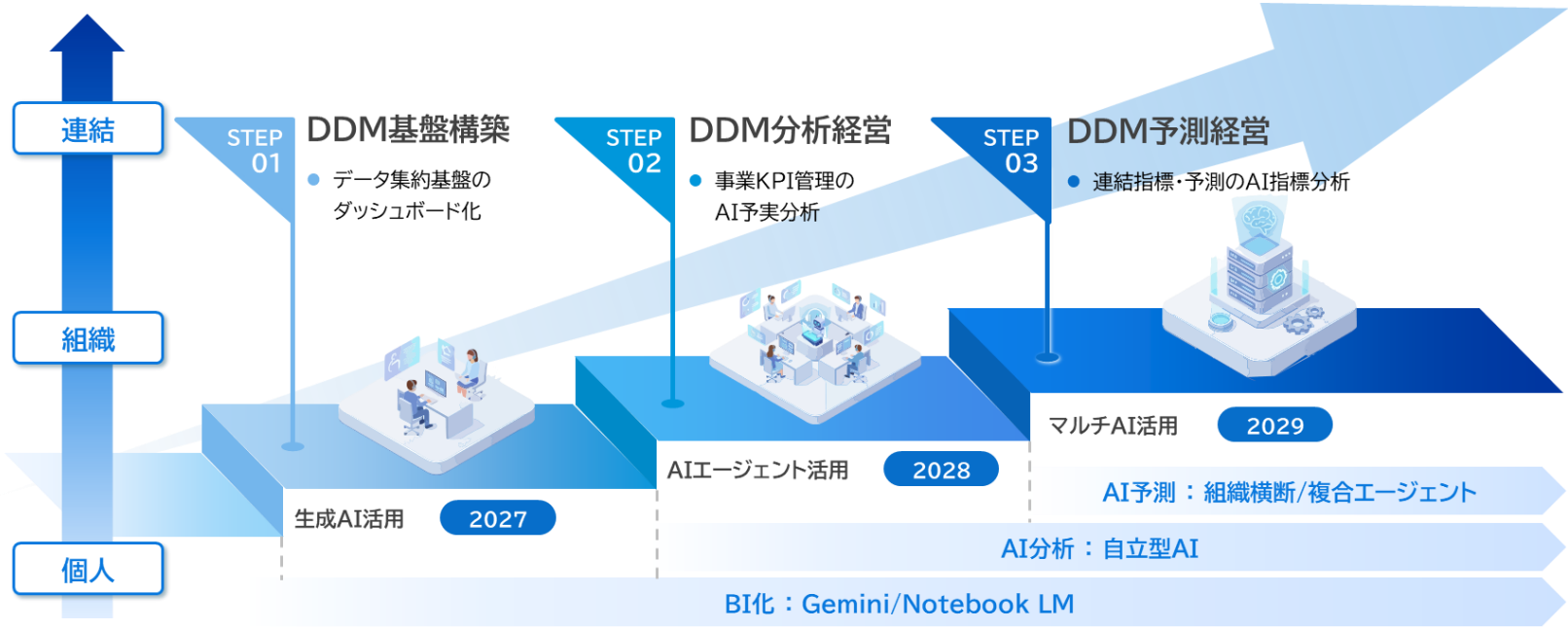
© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

DX戦略

全社共通のデータ基盤を整え、AIを活用した経営の意思決定スピードと効果的な分析の向上を目指す。

データドリブン経営（DDM）の実現に向けたAI推進



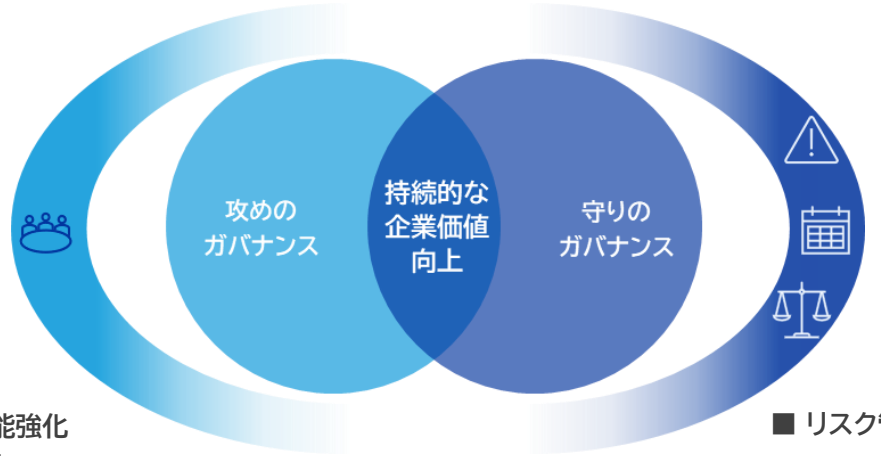
© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

ガバナンス強化

経営の透明性を高め、様々なリスク・機会に対し、公正かつ迅速な意思決定の実現を目指す。

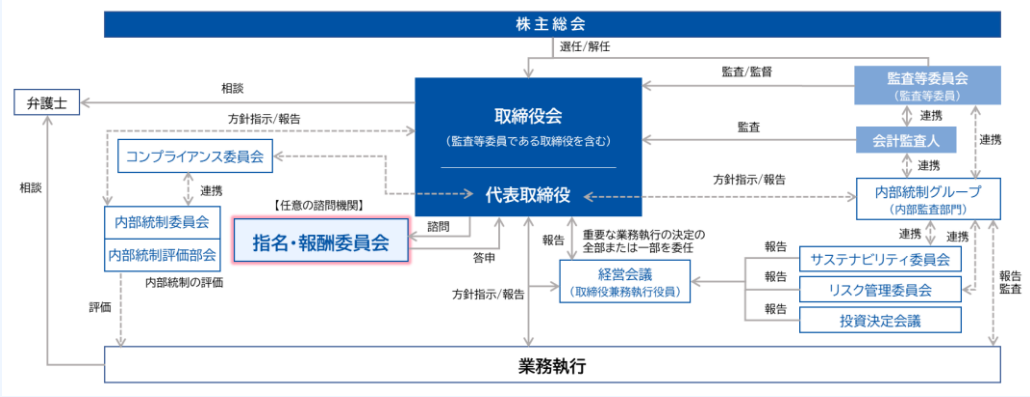
透明性の高い経営の実現



リスク管理体制の強化

■ 取締役会・経営会議の機能強化
- ・戦略的なアジェンダ設定
- ・各種委員会の機能強化
- ・コミュニケーションの深化

■ リスク管理委員会の機能強化
■ リスク管理研修の定期的な実施
■ コンプライアンス研修の定期的な実施



【指名・報酬委員会】

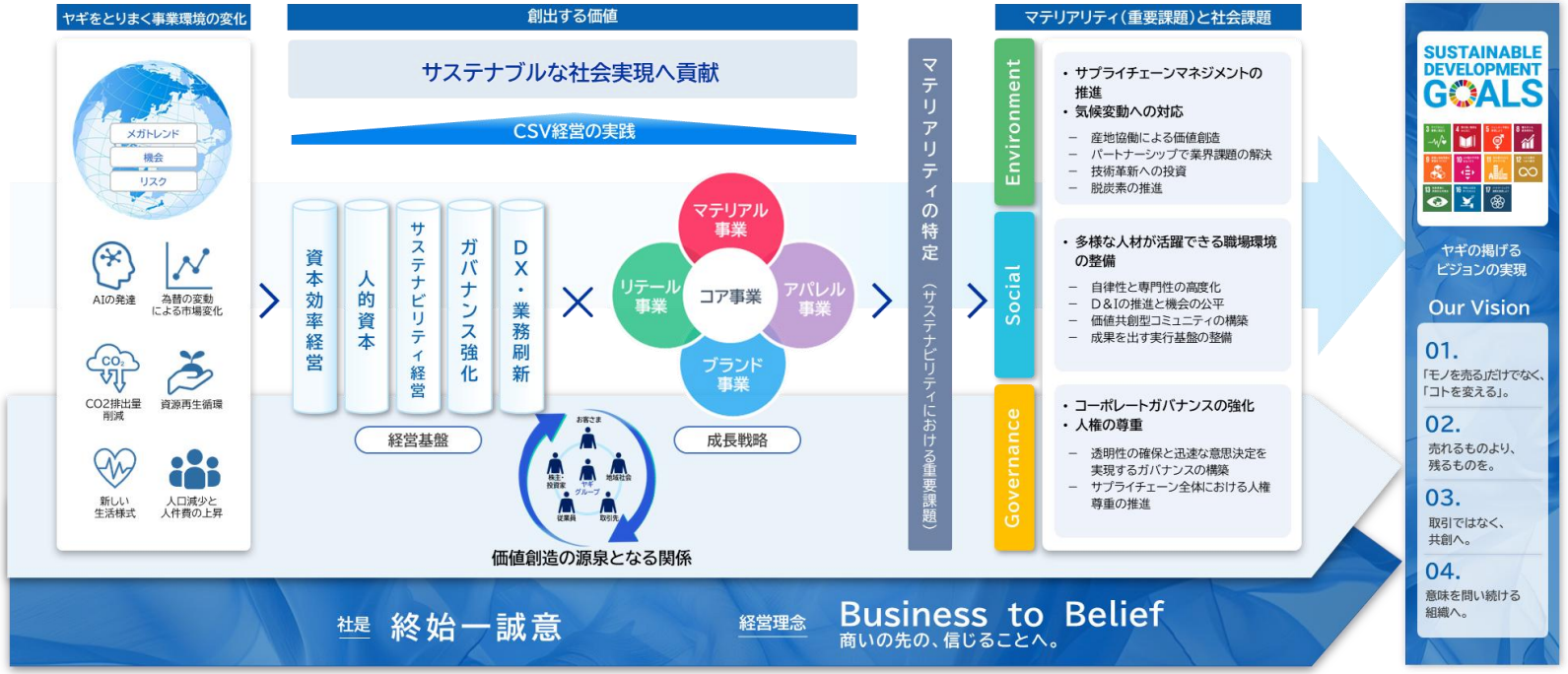
業績連動報酬を導入予定。
経営陣の資本効率への責任を明確化し、株主と目線を合わせPBR改善を加速する。

© 2026 YAGI & CO., LTD.

YAGI
Business to Belief

サステナビリティ

ヤギグループは、中長期的な企業価値の向上と持続可能な社会の実現に向けてマテリアリティ（重要課題）を設定。事業活動を通じマテリアリティへ取り組むことで、社会との共通価値を創造する。



© 2026 YAGI & CO., LTD.

リンク集

投資家情報TOP

投資家情報TOPはこちらをクリック



株価情報

最新の株価情報はこちらをクリック



中期経営計画

「中期経営計画2029」はこちらをクリック



YAGI REPORT(株主通信)

YAGI REPORT(株主通信)はこちらをクリック



YAGI CREATIVE HUB

YAGI CREATIVE HUB(ヤギの多様な取り組みや想いを発信するオウンドメディア)はこちらをクリック



© 2026 YAGI & CO., LTD.

Business to Belief

【免責事項】

本資料には、当社グループに関連する見通し、計画、目標等の将来に関する記述が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点において当社が入手している情報に基づき、一定の前提（仮定）と予想を基礎としています。また、本資料の作成に際して依拠した統計等第三者情報の正確性や完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

そのため、これらの記述または前提（仮定）は客観的に不正確であったり、将来実現しない可能性があり、将来の見通しと実際の結果は、経済状況の変化、お客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。当社は、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。

したがって、本資料のみに準拠して投資判断されることはお控えくださいますようお願いいたします。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

お問い合わせ先

株式会社ヤギ　経営企画部　経営管理/IRG
E-mail : IR（投資家情報）に関するお問い合わせ



当社IRに関する、各種開示情報の掲載や事業内容などの最新情報を公式ホームページでも公開しています。ぜひご覧ください。

© 2026 YAGI & CO., LTD.